21世紀に生きる

―青少年の主張大会―

堂々と発表する出場者

青少年育成町民会議主催の「第二十四回青少年の主張大会」が六月二十三日、中央公民館で開催されました。

小学生・中学生の順で、社会や世界に向けての意見、家族や友だちなどそれぞれの身近なテーマで力強い発表がありました。

審査結果は、次のとおりです。（敬称略）

【優秀】
若山　裕貴（松枝小六年）
岩崎　亜美（松枝小六年）
黒田　匠馬（下羽栗小六年）
梶田　祐実（下羽栗小六年）
野々垣　駿（笠松小六年）
水野　素江（笠松小六年）
杉山　智子（笠松中三年）
鈴木　鷹也（笠松中三年）
星　萌美（笠松中三年）

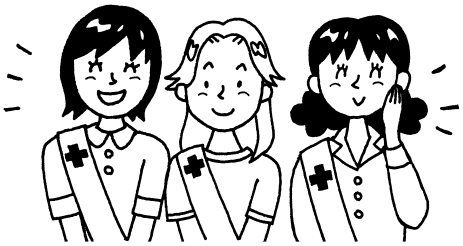
【最優秀】
伊藤　翼（笠松中三年）
亀水　千鶴（笠松中三年）

なお、最優秀に選ばれた二人は、町の代表として県大会出場者選考委員会に推薦されました。

手作りの寝巻きを贈り激励

町赤十字奉仕団

七月五日、町赤十字奉仕団が在宅のねたきりのかた（七十歳以上）五十人を訪問し、「いつまでもお元気で」の願いを込めて、一針一針心を込めて仕立てた寝巻きとういろうを贈り激励しました。

お年寄りたちは、心のこもった訪問に感謝され、奉仕団の皆さんと和やかなひとときを過ごされました。

▲お年寄りに声をかける奉仕団員さん